

# 千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町1-1  
公益社団法人千葉県園芸協会  
連絡先 043(223)3005  
発行日 毎月1日  
令和4年6月号

野菜ニュース



## 産地支援を中心とした 千葉県さつまいも協議会の取組について

公益社団法人千葉県園芸協会  
産地振興部 主査 野原 翔

(公社)千葉県園芸協会では、県や全農千葉県本部、関係JA等をメンバーとしてさつまいも協議会を設置し、産地の共通課題に取り組んでいます。今回は、産地育成を中心とした取組を紹介します。

### 1 はじめに

さつまいもは近年、焼き芋のブーム、スイーツとしての定着、海外需要の拡大等の要因により、販売単価は高値安定の状況が続いています。しかし、本県産さつまいもの作付面積は、高齢化等により年々減少しており、高まる需要に供給が追いついていない状況です。そのため、本協議会ではさつまいもを重要品目と位置づけ、市場における地位の堅持、産出額のさらなる増加を図るため、以下の取組を実施しました。

### 2 関係機関との情報共有と現状確認

九州の主要産地における基腐病の多発等、さつまいも生産を取り巻く環境が大きく変わってきていることから、県・全農千葉県本部・園芸協会を核とした戦略チームで各地域の農業事務所を訪問し、改めてさつまいも栽培の現状と課題に係る情報交換を行いました。その結果、以下課題が明確となり、これに対する支援に取り組むこととしました。

### 3 主要な支援方針について

#### (1) 需要に応えるための新産地の育成について

##### 1) 新産地への苗供給について

生産量の底上げに向け新産地を育成するため、JA及び農業事務所と協議を重ねた結果、新規にさつまいもを作付けしたいとの意向があった7地区に対し、取組を強力に後押しするため、以下のとおり苗を供給することとしました。

##### ア) 種芋の確保、増殖と配布

消毒を実施して基腐病の感染リスクを抑えた種芋を増殖委託業者へ搬送し、増殖した苗を新産地へ供給しました。



配布前の供給苗

##### イ) 販売方法

調製機械、貯蔵施設がない農家でも取り組めるよう泥付き出荷を行うこととし、全農千葉県本部において出荷先を確保しています。

#### 2) 供給産地への支援体制

新産地の生産者に対し、JA・農業事務所と連携し、担い手支援課・全農千葉県本部・園芸協会での現地巡回を実施し、栽培技術の指導、課題・要望等の聞き取りを行っています。



現地巡回の様子

#### (2) 既存産地の支援と健全苗の供給体制の構築

香取農業事務所・JAかとりへの聞き取りの結果、これまで高品質の市場出荷を維持してきた既存産地については、高齢化による労働力不足が大きな課題となっており、新たな労働力支援の取組が必要となっていることがわかりました。

また、新産地の育成及び既存産地の支援には、いずれも健全苗の供給が重要であることも明確になっています。

これらの課題については、戦略チームを中核とし、産地の意見に耳を傾けながら、今後とも継続して農業事務所及びJAと協議を重ねていきます。

#### 4 取組結果と今後について

上記の取組により、令和4年度は4.3haの面積が新規に作付されました。また、新産地では、新たに複数の農家がさつまいもに取り組む意向を示すなど、波及効果が表れています。

今後も、千葉県さつまいも協議会では、県産さつまいもの生産拡大に向けた取組を関係機関と連携して実施していきます。

# 園芸施設共済および農業経営収入保険制度の概要

千葉県農業共済組合(NOSA I千葉)

令和元年の台風15号、19号が千葉県にもたらした甚大な被害は、いまだ記憶に鮮明に残っているところですが、国の支援対策事業を利用して園芸施設を復旧された方は、園芸施設共済等の保険加入が要件とされています。

そこで、園芸施設共済及び農業経営収入保険制度について紹介しますので、御加入を御検討ください。

## 園芸施設共済

保険制度を用いた国の災害支援対策で、加入者の支払うべき共済掛金の2分の1に相当する金額を国庫で負担します。

### 1 加入基準

所有または管理しているハウスの合計面積が100㎡(ガラス温室は50㎡)以上の農家の方が対象です。複数の施設を所有・管理している場合は全て加入する必要があります。

### 2 加入対象品目

ガラス温室、ビニールハウス、鉄骨ハウス等。  
※附帯施設及び施設内で栽培される農作物も選択により対象にできます。



### 3 補償対象となる事故

台風や大雪による自然災害、地震、津波、噴火、火災、破裂、爆発、航空機の墜落等、飛来物の落下、車両及びその積載物の衝突及び接触、病虫害並びに鳥獣害が対象です。

### 4 補償対象外の損害

設備の故障及び老朽化によるもの、部材そのものに損害がない場合(ビニールのめくれ、ずれ落ちなど)、盗難やいたずらによるもの、施設内農作物の生理障害や薬害等。

### 標準的な育苗ハウスの掛金

パイプハウス(新築価格 本体36.5万円 被覆材13.5万円)を加入する場合(付保割合80%/被覆期間12ヶ月)

補償の内容	項目	新築のハウス	耐用年数経過後のハウス(10年)
① 新築価格を補償 ※1 付保割合追加特約20% ※2 復旧費用特約	補償金額	50万円	50万円
	掛金	15,632円	12,539円
② 新築価格の80%を補償 ※2 復旧費用特約	補償金額	40万円	40万円
	掛金	10,832円	8,952円
③ 減価償却後の価格を保証 ※3 小損害不填補10万円	補償金額	40万円	26万円
	掛金	8,473円	5,462円

- ※1 新築時の資産価値の最大2割を追加で補償します。
- ※2 復旧を条件に、新築時の資産価値の最大8割まで補償します。
- ※3 小さな被害を補償範囲から外すことにより、掛金が引きになります。

詳しい内容につきましてはお近くのNOSA Iへお問合せください。

## 農業経営収入保険制度

「収入保険」は、全ての農産物を対象に、自然災害による収量減少や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償する保険です。

自然災害や鳥獣害などで  
収量が下がった



市場価格が下がった



災害で作付不能になった



けがや病気で  
収穫ができない



倉庫が浸水して  
売り物にならない



取引先が倒産した



盗難や運搬中の  
事故にあった



輸出したが為替変動で  
大損した



### 1 加入できる方は

青色申告を行っている農業者（個人・法人）です。

農業共済、ナラシ対策、野菜価格安定制度などの類似制度とは重複して加入できません。

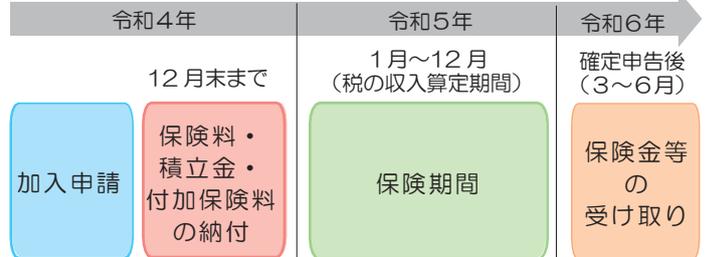
ただし、現在、当分の特例として、初めて収入保険に加入する場合、収入保険と野菜価格安定制度を同時利用（2年間）することができます。

### 2 対象となる収入は

自ら生産した農産物の販売収入全体となります（精米、もちなどの簡易な加工品も含む）。

### 3 加入・支払等のスケジュール

（個人の場合）



※保険期間中は加入できません。

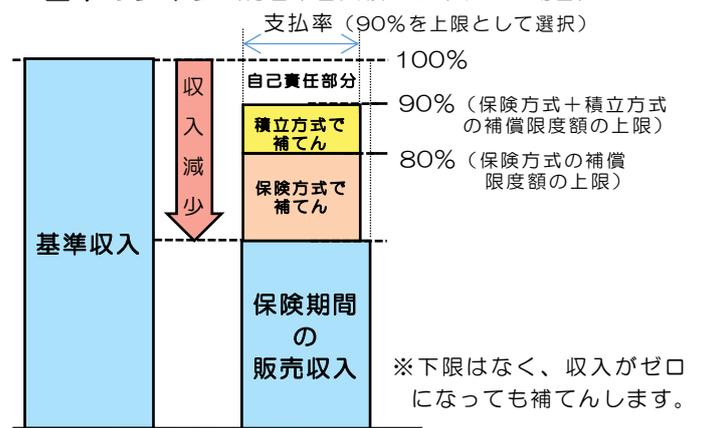
### 4 つなぎ融資

保険期間中に大きな被害があった場合、無利子のつなぎ融資を受けられます。つなぎ融資により、保険期間中でも資金が確保できるため、安心して農業経営ができます。

### 5 補てんの仕組みは

最大補償の場合、保険期間の収入が基準収入の9割（補償限度の上限）を下回った場合に、下回った額の9割（支払率）を上限として補てんします。

基本のタイプ（青色申告実績が5年以上の場合）



「基準収入」は過去5年間の平均収入（5中5）を基本に、規模拡大など、保険期間の営農計画も考慮して設定します。

詳しいお問合せは

千葉県農業共済組合 収入保険課

電話 043-245-7447

メール income@nosai-chiba.or.jp

野菜ニュース



## J A全農ちばが取り組む ドローンを活用した園芸品目の防除

全国農業協同組合連合会千葉県本部  
営農支援部 営農企画課 高橋 佑助

生産者に大きな負担を要する防除作業を効率化する手段のひとつとして、ドローンによる防除に注目が集まっています。様々な課題を抱える農業を持続的に営んでいくためには、こうした新たな手段を適切に活用していく必要があります。

### 1 はじめに

スマート農業とは、ロボット技術やICTを利用し、省力化や精密化を図った農業生産を実施することです。日本農業の課題に、高齢化に伴う後継者や働き手の不足、気象の極端化による負担増加などがあります。スマート農業は、こうした課題を解決する手段のひとつです。

スマート農業の中で特に、ドローンの活用に対し、大きな注目が集まっています。現在では、水稻の農薬散布を中心に広く普及が進み、園芸品目の防除等への活用も進みつつあります。

### 2 園芸品目におけるドローン防除の課題

園芸品目の防除においてドローンを活用する場合、大きな課題となっているのが登録農薬数です。ドローンは積載できる重量が限られているため、高濃度、少量での散布が可能な農薬の登録拡大が求められています。農林水産省ではドローンに適した農薬の登録数拡大を図っており、着実に登録数は増加しているものの、園芸品目では現状十分ではありません。

### 3 J A全農ちばの取組

#### (1) 園芸品目の農薬登録拡大に向けて

園芸品目における登録農薬数の増加に貢献するため、本所耕種資材部、各メーカーと連携し、J A全農ちばの営農技術センター内ほ場にて試験に取り組んでいます。これまで、キャベツ、とうもろこし、ねぎの試験を実施しました。今後も農業現場のニーズを収集し、取組を進めていきます。

#### (2) ドローンによる農薬散布等請負事業

業務委託先企業と共同で、ドローンによる農薬散布等請負の事業化に向けた取組を進めています。水稻カメムシ類防除において、航空防除の仕組みは維持しつつ、それを補完する仕組みとして

枠組みを構築、J Aと連携して令和3年度は約20haの実証を実施しました。

実証した枠組みを基礎とし、園芸品目の防除への展開も進めていきます。J Aと連携して令和3年度はさつまいもにおける実証を実施、令和4年度は品目を拡大し、さつまいも、じゃがいも、さといもにおける実証を計画しています。

#### (3) 実証試験、実演デモ飛行

J Aや各メーカーと連携し、農業現場におけるドローン活用の現地実証試験や実演デモを実施しています。今後も、農薬散布に限らずドローンを活用できる技術を洗い出し、実証試験等を行っていきます。



試験散布の様子（ねぎ）

### 4 さいごに

防除にドローンを活用することで、これまで生産者にとって大きな負担となっていた手散布作業を大幅に効率化できる可能性を秘めています。

J Aグループは第29回J A全国大会（令和3年10月）で「持続可能な食料・農業基盤の確立」を進めるとしています。ドローンによる防除など、スマート農業を適切に活用し、生産者が持続的に営農を維持、発展できるよう取組を進めていきます。

野菜ニュース



## 11月中旬どりブロッコリーの優良品種の選定

千葉県農林総合研究センター 水稻畑地園芸研究所  
東総野菜研究室 研究員 鈴木 結花

11月中旬どりブロッコリー品種を対象に第69回千葉県野菜品種審査会を開催しました。いずれも形状に優れる「ラウンドスター」((株)朝日アグリア)、「BL-458」((株)ブロリード)、「夢あたる」(ナント種苗(株))、「BL-461」((株)ブロリード)の4品種を選定しました。

### 1 はじめに

ブロッコリーは全国的に栽培面積が増加し、注目を集めている品目です。千葉県では秋冬どりを中心に栽培されており、様々な気候に対応したリスク分散のために作付品種の分散が求められています。そのうち、11月中旬どり栽培の慣行品種は、黒斑細菌病や花蕾腐敗病に弱い性質があります。そこで、これらの病害に強い11月中旬どり品種を選定することを目的に、千葉県野菜品種審査会を開催しました。

### 2 栽培の概要

種苗メーカーから出品された13品種を令和3年8月5日に128穴セルトレイへ播種し、パイプハウスで育苗した後、8月31日に定植しました。栽植密度は、畝間60cm、株間35cmとし、栽培は現地慣行に準じて行いました。令和3年は、育苗中の寡日照によって苗が徒長気味に生育したほか、10月1日に接近した台風16号による風害のため、一部の品種で欠株が多く発生しました。栽培を行ったほ場では、根こぶ病が発生し、日中、葉の萎れ症状が観察されました。生育後期の11月には平年を上回る気温が続き、審査会当日には収穫適期を過ぎた品種が散見されました。

### 3 審査結果

11月16日に18名の審査員によって立毛及び収穫物を審査した結果、「ラウンドスター」((株)サカタのタネ)、「BL-458」((株)ブロリード)、「夢あたる」(ナント種苗(株))、「BL-461」((株)ブロリード)の

4品種が入賞しました。これらの品種は、形状や揃いの良さが評価され、収穫物審査において120点満点中97点以上を獲得しました。「ラウンドスター」は立性で、コンパクトな草勢が評価され、立毛審査において出品品種中最も高い得点を獲得しました。

「BL-458」は、花蕾の肥大に伴う緩みが少なく、収穫物審査において高い得点を獲得しました。「夢あたる」及び「BL-461」の花蕾の大きさは、「ラウンドスター」と同程度でした。また、花蕾腐敗病の発生は、「夢あたる」で少なく、「ラウンドスター」でやや少ない傾向でした。

令和4年4月現在、「ラウンドスター」及び「夢あたる」は品種名で販売、「BL-458」は試験販売されています。「BL-461」は販売未定となっています。



写真 「ラウンドスター」の花蕾外観

### 4 おわりに

今回選定した品種は、いずれも形状や揃いの良さに優れています。これらが産地に導入され、安定出荷と生産拡大に寄与できれば幸いです。

表 入賞品種の審査得点と収穫物調査結果

順位	品種名	会社名	審査得点			花蕾径 (cm)	花蕾重 (g)	品質	揃い
			立毛	収穫物	合計				
1	ラウンドスター	(株)朝日アグリア	67.1	97.7	164.8	9.6	355	○	◎
2	BL-458	(株)ブロリード	62.7	101.1	163.8	12.5	524	△	○
3	夢あたる	ナント種苗(株)	63.2	98.6	161.8	9.8	344	○	○
4	BL-461	(株)ブロリード	61.8	98.5	160.3	9.9	327	△	○

注1) 立毛80点、収穫物120点、合計200点満点

2) 花蕾径及び花蕾重は11月16日に調査した

3) 「ラウンドスター」の審査時の名称は「AB-180」

4) 品質は、花蕾腐敗病とブラウンビーズの発生をもとに評価した

5) 揃いは、収穫した15株を評価した

6) 品質及び揃いは、◎:とても良い、○良い、△やや劣るの3段階評価とした

## 農薬危害防止運動の 実施について

千葉県農林水産部安全農業推進課

県では、農薬による事故などを防止するため、農薬を使用する機会が増える6月～8月を「農薬危害防止運動」期間と定めています。農薬の安全かつ適正な使用及び保管管理の徹底等、以下のことに注意しましょう。

### 1 農薬の表示事項の確認

農薬を使用する際は、ラベルの内容（適用作物、適用病害虫／雑草、希釈倍数・使用量、使用方法、使用時期、使用回数、散布液量など）を十分に確認し遵守しましょう。

### 2 記帳・保管管理

農薬は他の容器に移したりせず、農薬の保管場所には鍵をかけるなどして、誤飲や盗難のないよう気をつけましょう。また、農薬の使用年月日、農薬名、場所、対象作物、使用量（希釈倍数）を記録し、保管しましょう。

### 3 農薬使用時の飛散等防止対策

農薬用マスク、保護メガネ等の防除装備をきちんと着用しましょう。風向きや風の強さに注意し、対象作物以外に飛散しないよう注意しましょう。土壌くん蒸剤使用直後の被覆を徹底しましょう。

### 4 住宅地周辺での農薬散布に注意

住宅地などの周辺で農薬を使用する場合は、散布日時などを事前に近所の方にお知らせしましょう。散布時や散布直後に人が立ち入らないよう、立て看板を設置しましょう。

定期的な散布はやめ、病害虫の発生状況に応じた適切な防除を実施しましょう。

◇お問合せ先：千葉県安全農業推進課

TEL：043-223-2888

## ランドマークプラザ 「イチゴグルメフェア」で 県産いちごをPR

千葉農林水産部流通販売課

令和4年3月11日（金）から31日（木）まで、横浜ランドマークタワー内商業施設「ランドマークプラザ」で「イチゴグルメフェア」が開催され、施設内の飲食店2店舗で千葉県産いちごを使った限定メニューが提供されました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の積極的な消費宣伝が難しい中、新たなPR手法として県産農林水産物を飲食店で直に味わっていただく



飲食店で提供された  
限定メニュー

試みは、とちおとめ、チーバベリー、ふさの香など、千葉県の特徴である様々な品種が使用され、県内の各産地と連携して供給された旬の千葉県産いちごを使用した限定メニューはいずれも好評でした。

イベントの開催告知は、ランドマークプラザ内のポップやサイネージ、インターネットサイト等で広く紹介された他、3月26日（土）、27日（日）には県産の完熟いちごや農産物、加工品の販売会も同時開催され、「チーバくん」が来場して千葉県のいちご産地や農産物のPRを行いました。

ブースを訪れた多くの家族連れに「チーバくん」は認知されており、販売会当日は完熟いちごが完売するなど、県外消費者に向けて千葉県産の農産物の魅力を知っていただく機会となりました。



チーバくんも  
来場してPR！

今後も、新たな生活様式に対応したPR手法を検討しながら、県内外に向けて県産農林水産物の消費拡大に向けた取組を行っていきます。